



第21回「野生生物と交通」研究発表会

聴講無料・完全申込制 〈プログラム〉 日時:2022年2月18日(金) 10:30~

SYMPOSIUM ON WILDLIFE AND TRAFFIC 2022 全体スケジュール		10:40-12:00	第1分科会	13:30-14:30	第2分科会	14:40-16:00	第3分科会
10:30-10:35	開会・挨拶	12:00-12:30	パネル展示PR	14:30-14:40	休憩	16:10	閉会
		12:30-13:30	昼食				

第1分科会（心理的刺激による対策） 10:40-12:00		座長：阿部 正明〔（一社）北海道開発技術センター〕	
10:40 11:00	若桜鉄道における高周波発生装置の効果について	○辻 維周〔岡山理科大学教育推進機構〕 轟 秀明〔有限会社 T.M.Works〕	
11:00 11:20	シカ警戒声を利用した列車とシカとの接触事故防止手法の開発	○志村 稔、潮木 知良、池畑 政輝 〔（公財）鉄道総合技術研究所〕	
11:20 11:40	車両との衝突防止を目的とした超指向性音に対する野生のニホンジカの反応調査	○松崎 博季、真田 博文、和田 直史 〔北海道科学大学〕	
11:40 12:00	獣害対策忌避製品の開発	○村井 悠、松田 太樹、柴尾 幸弘〔理研興業(株)〕 秋庭 英治、八木 亮祐〔クラレトレーディング(株)〕 佐藤 真人、鹿野 たか嶺、野呂 美紗子 〔（一社）北海道開発技術センター〕	
★パネル展示PR 12:00-12:30 ★昼食 12:30-13:30			
第2分科会（保全） 13:30-14:30		座長：野呂 美紗子〔（一社）北海道開発技術センター〕	
13:30 13:50	オホーツク海沿岸地域の原生花園におけるエゾシカによる植生被害状況	○丸山 立一、中島 卓也、重松 琢和〔(株)構研エンジニアリング〕 中園 美紀〔中標津町教育委員会〕、丸山 まさみ〔松籟庵〕 中島 浩之〔上川総合振興局〕	
13:50 14:10	道路事業における希少植物エゾエノキの保全事例	○漆原 強、池田 幸資〔パシフィックコンサルタンツ(株)〕 北川 輝久生、東 英俊、尾野 陽子 〔北海道開発局 札幌開発建設部〕	
14:10 14:30	鳥類による固定式視線誘導柱への営巣	○三上 修〔北海道教育大学函館校〕	
休 憩 14:30-14:40			
第3分科会（ロードキル） 14:40-16:00		座長：原 文宏〔（一社）北海道開発技術センター〕	
14:40 15:00	野生動物との交通事故対策となる動物検知システムに関する事例紹介	○佐藤真人、鹿野たか嶺、野呂美紗子 〔（一社）北海道開発技術センター〕	
15:00 15:20	北海道十勝地方における中型食肉獣のロードキルエゾタヌキとキタキツネを比較して	○添田 若菜〔帯広畜産大学〕 園田 陽一〔(株)地域環境計画〕 柳川 久〔帯広畜産大学〕	
15:20 15:40	ロードキルで生じた野生動物の死体を疫学研究に応用する	○浅川 満彦〔酪農学園大学〕	
15:40 16:00	諸外国のロードキルデータ収集システムの実態分析	○伊東 英幸〔日本大学〕 越川 結葵〔開発虎ノ門コンサルタント(株)〕 藤井 敬宏〔日本大学〕	
閉 会 16:10			

完全
オンライ
開催に変
なりました

パネル 展示

★webサイト内でパネル展示を行います[期間:2022年2月18日(金)~3月15日(火)]

- 野生動物医学センターの活動内容[酪農学園大学野生動物医学センター]
- IoT自動撮影カメラとAI搭載クラウド[(株)ハイク]
- 害獣侵入防止装置「わたれません」「わたれませんLIGHT」[(株)赤城商会]
- 車載型鹿忌避音自動吹鳴装置[(公財) 鉄道総合技術研究所]
- 奈良の鹿愛護会で保護および治療を行った奈良のシカのうち交通事故に遭遇したニホンジカの占める割合とその予後について[(一財) 奈良の鹿愛護会]
- ナッジを活用したエゾシカロードキル対策の取組について[北海道行動デザインチーム (HoBiT)] 他

【お問い合わせ】(一社)北海道開発技術センター内「野生生物と交通」研究発表会係(担当:向井奈由美、鹿野たか嶺)
〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル3F (一社)北海道開発技術センター内
●電話:011-738-3363 ●FAX:011-738-1890 ●E-mail: wildlife@decnet.or.jp ●[Web] http://www.wildlife-traffic.jp/

聴講申し込みはこちら!
(2月15日[火]まで)
※締切延長しました



●主催:(一社)北海道開発技術センター ●共催:(一社)エゾシカ協会、(公財)北海道環境財団、アニマルパスウェイ研究会、(一社)アニマルパスウェイと野生生物の会、道路生態研究会、
(一社)シーニックバイウェイ支援センター ●協力:エコ・ネットワーク ●後援:国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、北海道、東日本高速道路(株)北海道支社、北海道
旅客鉄道(株)、帯広畜産大学、(一社)日本福祉のまちづくり学会北海道支部

recycled paper